

池水雄一のプラチナ・スペシャルレポート

2014年12月1日号

Platinum

Platinum 10days



右軸：ドル建てプラチナ/オンス

(Platinum 3 years)



右軸：ドル建てプラチナ/オンス

(Plat in Yen)



右軸：円建プラチナ/グラム

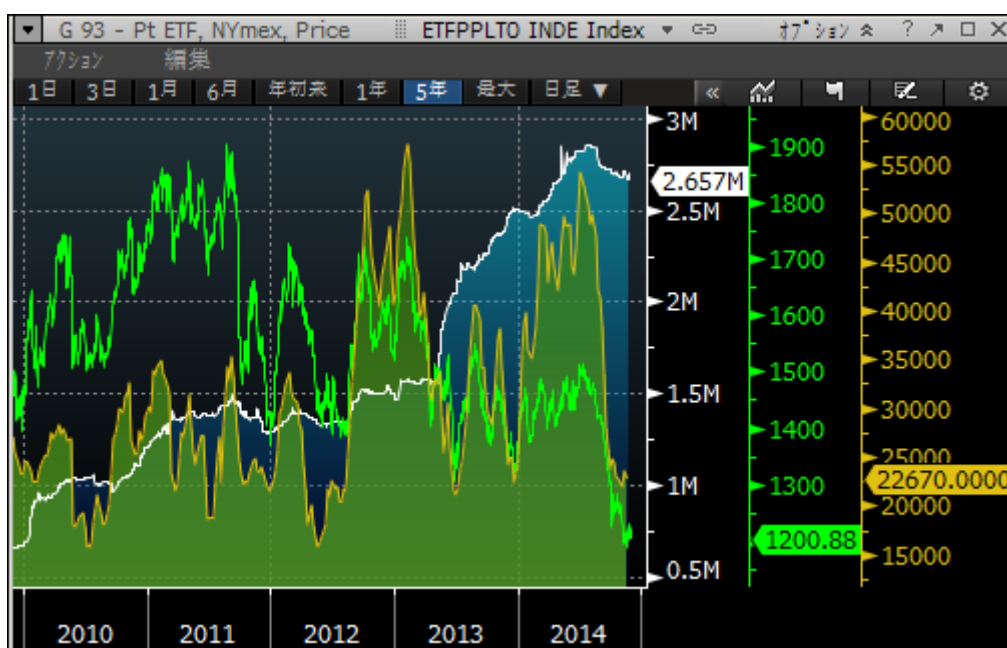
ドル建て	USD/toz		円建て	JPY/gram	
Platinum	Price	Date	Platinum	Price	Date
Open	1224.00	2014/11/24	Open	4645.00	2014/11/24
High	1230.00	2014/11/26	High	4662.00	2014/11/24
Low	1199.00	2014/11/28	Low	4574.00	2014/11/25
Close	1202.00	2014/11/28	Close	4588.00	2014/11/28

前週末の中国の利下げでもっとも上昇したのがプラチナでしたが、今週はその上昇分を消した結果になりました。それでもゴールドの下げに比べると 1200 ドルで下げ止まり、今回の下げにもっとも影響が大きかったのがシルバー・ゴールドであり、プラチナは比較的しっかりであったという気がします。円建てでは 4660 円まで上昇しましたが、一週間の終わりは 4600 円を割り込みました。4600 円を挟んだ動きがしばらく続きそうな気がします。

(プラチナ円建て過去1年)



(Pt ETF、Nymex Pt 投資家ポジションとプラチナ価格)

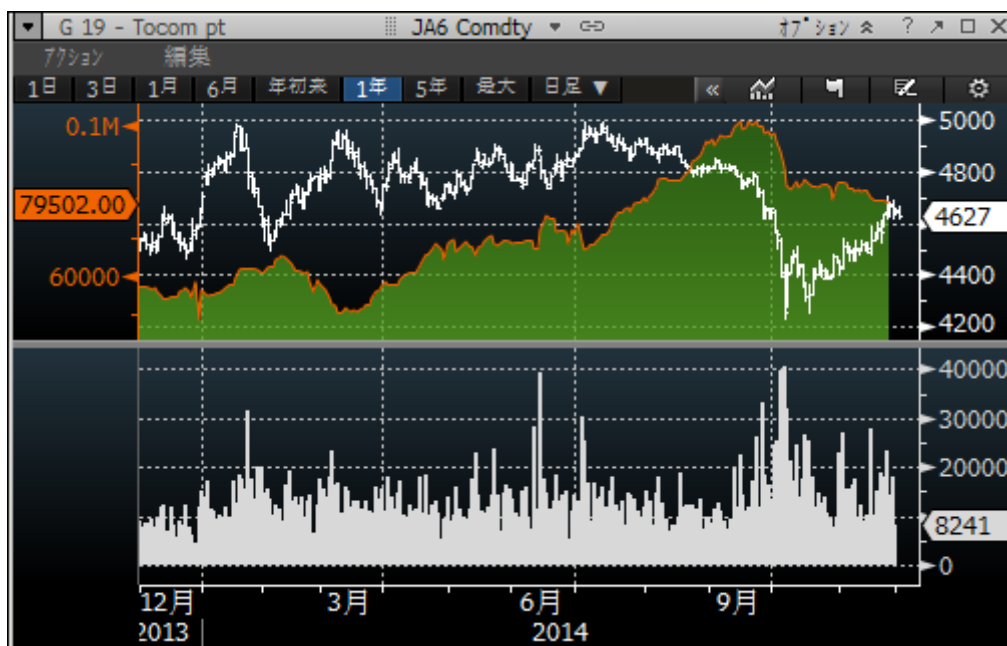


左軸：ETF 残高 (百万オンス)

中軸：ドル建てプラチナ価格/オンス

右軸：Nymex 投資家ポジションロット数 (1 ロット=50 オンス)

(Tocom プラチナ建玉残、プラチナ価格、出来高)



上：左目盛り：Tocom の建玉残、右目盛り：Tocom PT 価格

下：出来高

Tocom のプラチナの建玉は若干減少して 79500 枚。現在ゴールドの建玉とプラチナの建玉がほぼ同じ枚数。プラチナへの日本の投資家のインタレストが非常に高いと言えます。

Palladium

(Pd 10days)



右軸：ドル建てパラジウム価格/オンス

(Pd 3 years)



右軸：ドル建てパラジウム価格/オンス

(Pd in JPY)

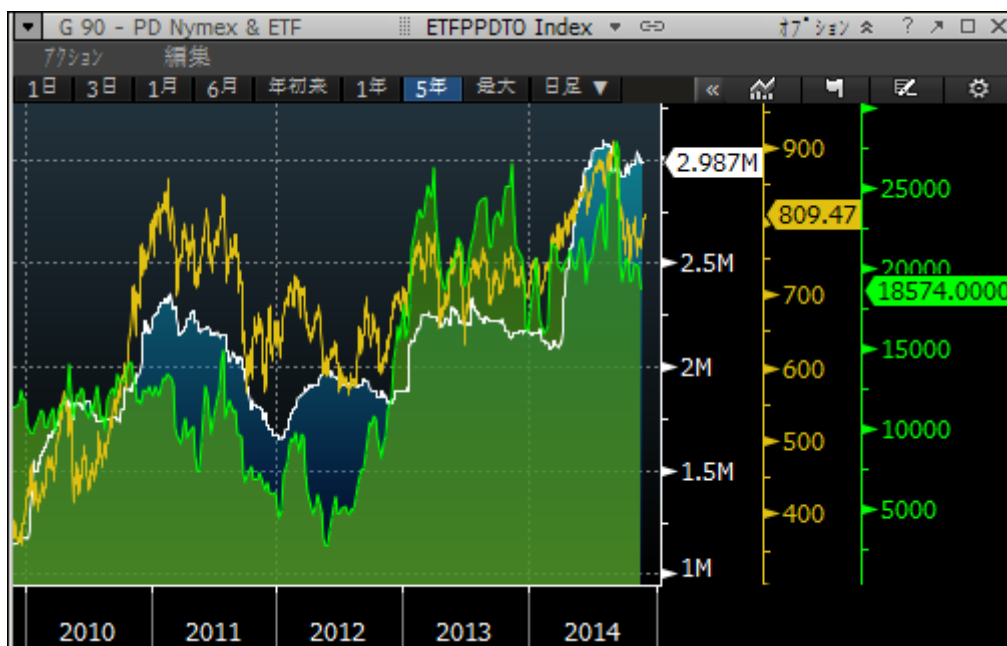


右軸：円建パラジウム/グラム

ドル建て	USD/toz		円建て	JPY/gram	
Palladium	Price	Date	Palladium	Price	Date
Open	792.00	2014/11/24	Open	3000.00	2014/11/24
High	815.00	2014/11/25	High	3097.00	2014/11/28
Low	787.25	2014/11/24	Low	2985.00	2014/11/24
Close	809.50	2014/11/28	Close	3089.00	2014/11/28

パラジウムだけは金曜日に全く下落せず逆に上昇し、ほかのメタルとは一線を画した動きとなりました。円建てではほぼ一週間の高値で引けることになりました。メタルが下がらずもっとも円安で終わったから当然と言えば当然なのですが、ここに来てまたプラチナとパラジウムとのファンダメンタルズの違いが出てきたのかもしれませんが、今週発表された Johnson Matthey レポートでもプラチナ・パラジウムとも供給不足が予想されていますが、パラジウムのほうがプラチナ以上に深刻な状況であるとされていることもパラジウムは売られなかった要因でもあるのでしょうか。引き続き長期的にはロング保持です。

(Pd ETF、Nymex の投資家ポジションとパラジウム価格)



左軸：ETF 残高 (百万オンス)

中軸：ドル建てパラジウム価格/オンス

右軸：Nymex 投資家ポジションロット数 (1ロット=50オンス)

(米国自動車販売台数とパラジウム価格)



左軸：米国自動車販売台数総計 (百万台)

右軸：ドル建てパラジウム価格

「PGM Fixing が LME へ。」

12月1日から PGM Fixing が LME のシステムに移行します。1989年から BASF Metals、Goldman Sachs、HSBC、Standard Bank の 4 社が電話をつないで日に二回（ロンドン時間 9:45am と 2:00pm）値決めをしていた PGM fixing がシステムへと移行するのです。

8月には Silver Fixing がまず、ロイター&CME のシステムへ移行。そして Gold Fixing も来年の早い時期に ICE による新たなシステムに移行予定。ということで、すべての貴金属のロンドンの Fixing が終わることになります。昔からのまさに「セリ」のシステムが、今は 問題とされるようになり、先週はニューヨークで PGM Fixing のメンバー 4 社を宝飾業者が価格の操作により損失を与えられたという訴訟を起こしています。Gold Fixing でも同様の訴訟が起こされています。

このような世の流れに対して、より多くの参加者による、より透明・公正な方法への移行として、各メタルのフィキシングはシステム化への動きとなっているわけです。

PGM は「LBMA Platinum Price」「LBMA Palladium Price」と呼ばれるようになり、その価格データおよび知的財産権は LBMA が管理することになります。そしてそのシステムは LME によって運営されることになり、LME のウェブサイトで公表されるということです。

まずは 12 月 1 日の初日の様子を見てみましょう。

（留意事項）

本レポートは情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を意図するものではありません。本レポートに掲載された情報、見通し、意見等は筆者が独自の情報に基づき作成したものであり、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。投資に係る最終決定は投資家ご自身の判断と責任で行ってください。万一、この情報に基づいて取引をされ損害を被った場合においても、当社および本資料中に引用・掲載した情報の提供者は一切責任を負いません。